

第120回勉強会「ジオラボ」のご案内

主催:(公社)地盤工学会九州支部／長崎地盤研究会

共催:長崎県測量設計コンサルタント協会 後援:長崎県技術士会

日 時:令和元年6月14日(金)14:00～17:30

会 場:佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」 研修室2

(佐世保市三浦町2番3号 アルカス SASEBO 2階 ／ TEL: 0956-23-3828)

<http://www.city.sasebo.lg.jp/siminseikatu/jinken/spica.html>

参 加 費: 1,000円 (資料代含む)

話題提供:14:00～17:00(①:14:00～15:30／②15:30～17:00の予定)

①傾斜センサーを利用した被災斜面の遠隔自動監視事例

藤谷 久 様 (中央開発株式会社 ソリューションセンター ジオ・メンテナンス事業部 事業部長)

概要:近年、地球温暖化の影響により、日本国内ではゲリラ豪雨が多発し、その結果災害頻度が増加するとともに、災害規模も増大し、国民の安全・安心な暮らしを脅かしている。このような状況の中、ICT技術の急速な発展に基づき、防災・減災という観点から、現場で計測したデータをリアルタイムで監視する需要が高まっている。本講演では、地すべりおよび崩壊によって被災した斜面で計測した傾斜センサーの監視事例を幾つか紹介する。

②科学者から見た環境問題

鈴木 誠二 先生 (長崎大学大学院 工学研究科 准教授)

概要:『環境問題』というフレーズを聞いたことがない人は、ほとんど日本にはいないでしょう。それほど日本では、1990年代から環境問題ブームが起こっています。しかし、環境問題とはいったい何かと真剣に考えたことがある人は少ないのではないでしょうか。長年、水圏の環境について研究を実施してきた科学者の立場から、改めて環境とは何か、環境問題とは何かと一緒に考えてみたいと思います。

長崎地盤研究会ミーティング:17:00～17:30 ／ 懇親会:18:30～（会場近辺で開催予定）

※ご参加いただいた皆さんに、「建設系CPD協議会（地盤工学会）継続教育参加証」もしくは「測量系CPD協議会継続教育参加証」を発行いたします。

お申込みについて：勉強会へご参加の方は、配布資料の準備のため下記宛先までご連絡いただけますと幸いです。

なお、懇親会にご参加予定の方は、予約手配の都合のため、6/12（水）までにその旨ご連絡いただきますようお願い申し上げます。当日お申し込みの場合は、ご参加できないことがありますので、ご了承ください。

お申し込み先： 長崎大学大学院 工学研究科 システム科学部門 杉本
FAX:095-819-2627 E-mail:s-sugi@nagasaki-u.ac.jp